

## 調査ご協力のお願い

研究名：高リスクを有する高血圧患者における各種バイオマーカーと心血管イベント発症とに対するアンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬（ARB）の効果（多施設共同研究・比較試験）：  
ATTEMPT（A Trial of Telmisartan Prevention of Cardiovascular diseases）試験

研究実施期間：平成21年2月6日～令和9年4月30日

熊本大学 研究倫理委員会承認番号：903（承認日 2021年4月16日）

### ① 研究の目的（試料・情報の利用目的及び利用方法）

高血圧治療において、アンジオテンシンⅡタイプ1受容体拮抗薬（ARB）が広く使用されており、ARBには降圧を越えた臓器保護作用があるといわれています。心血管イベント発症とバイオマーカーとの関連性を検討した海外の研究データで、心筋梗塞＋脳卒中＋心血管死と脳性ナトリウム利尿ペプチドおよび微量アルブミン尿との有意な相関が示されています。日本人の高血圧患者さんにおいて、種々のバイオマーカーと心血管イベント発症に関して、同様の結果が得られるかについては不明です。そこで、本試験で、日本人の高リスクを有する高血圧患者におけるバイオマーカーと心血管イベント発症に対するARB（テルミサルタン）の効果を通常治療時の効果と比較検討します。さらに、バイオマーカーと心血管イベント発症との関連性を探索的に検討します。本研究は「バイオマーカーの変化を指標とした日常臨床現場での心血管イベントの予測、予防への応用」に繋がるものと期待しています。

### ② 利用する試料・情報

年齢・性別・基礎疾患・入院歴・服薬歴・血液検査・心電図・胸写から得られる情報、心血管イベントの発症情報。

※個人が特定できる情報や、病院ID番号は研究には利用しません。研究データ上にも残りませんので、本研究から個人情報が流出することはありません。また、研究の成果を公表するときにおいても個人情報が漏出することはありませんので、患者様に危険や不利益が生じることはありません。研究論文の発表等においては、所定の熊本大学倫理委員会の承認を得ています。特定されない将来の研究のために用いられる場合又は他の研究機関に提供する場合、その時点で新たに倫理審査を受けます。

③ 研究実施施設及び責任者（利用する者の範囲/試料・情報の管理について責任を有する者の氏名）

研究実施機関の名称：熊本大学大学院生命科学研究部 循環器内科

研究責任者：副島弘文

利用する者の範囲

副島 弘文（熊本大学 保健センター准教授・循環器内科診療医師）

光山 勝慶（熊本大学 大学院生命科学研究部 生体機能薬理学 教授）

松井 邦彦（熊本大学病院 地域医療・総合診療実践学寄附講座 特任教授）

山本英一郎（熊本大学 生命科学研究部 助教）

野出孝一（佐賀大学 医学部内科学 教授）

④ 研究への利用を停止する場合

患者様においては、得られた情報の研究への利用をいつでも停止することができます。

研究に不参加となった場合も、患者様に不利益が生じることはありません。申し出をされる場合は本人又は代理人の方より、下記の連絡先までお問い合わせください。

⑤ 連絡先

研究利用の停止、そのほか質問したいことなどがありましたら、下記の担当者までご連絡ください。

熊本大学病院 循環器内科 東病棟5階

〒860-8556 熊本県熊本市中央区本荘1-1-1

連絡先：096-373-7418 担当医師：副島弘文